



鈴鹿市立箕田小学校通信

みだっこ

<学校教育目標>

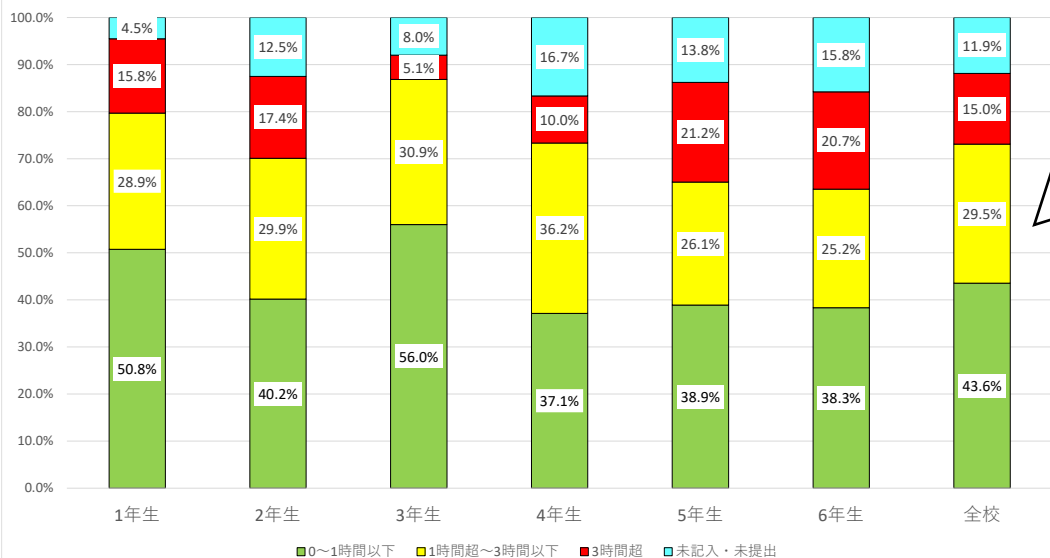
自他を尊重し、ともに学び、
高め合う子の育成

令和8年8月20日(木)NO.15

「家庭学習・家庭読書強化週間」の取組の結果から

鈴鹿市では、こどもたちの自ら学ぶ力や豊かな人間性を育むために、学校の教育活動とともに、家庭での学習や読書の習慣化を目指しています。そこで、大木中学校区の4つの小中学校において、保護者の皆様にご協力いただきながら「家庭学習・家庭読書強化週間」の取組を各学期に進めております。本校は、1学期の6月17日(水)～23日(火)に実施しました。その結果は以下のようになりました。お子さまの学年はいかがでしょうか。

テレビ、ゲーム、動画、SNS等の時間（スクリーンタイム）

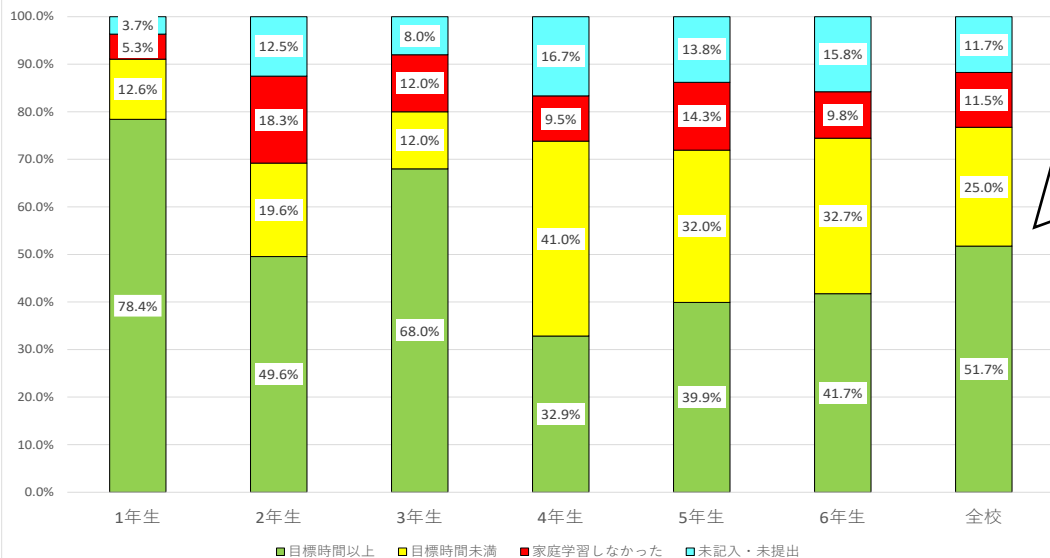


全校平均から
約70%の子
が3時間以内
におさめてい
ます。



5・6年生で
3時間以上の
子が20%
以上います。

家庭学習時間（達成度）

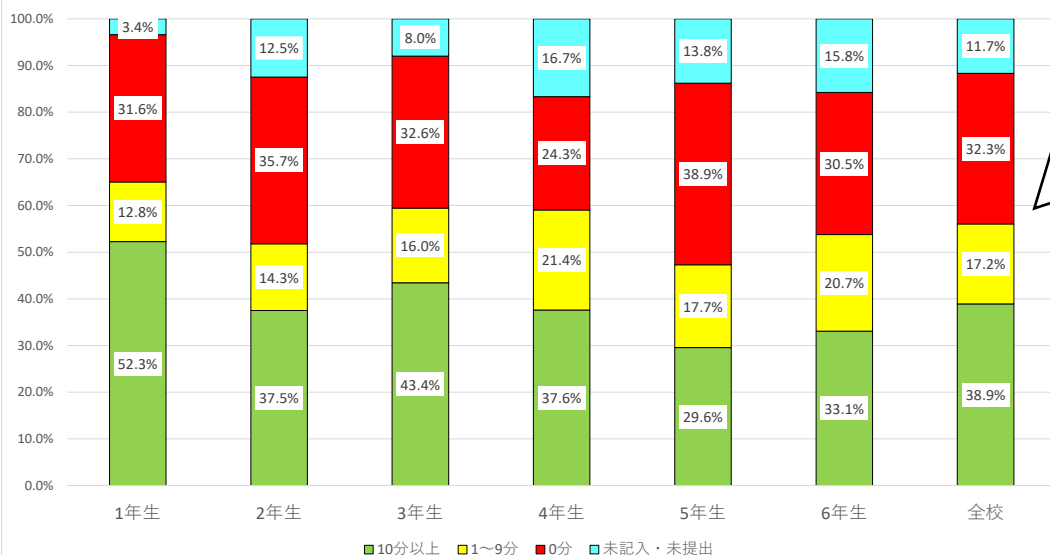


全校平均から
約50%の子
が目標時間
以上を達成し
ています。



学習時間が
多くなる4
年生以上で、
達成度が低く
なる傾向があ
ります。

家庭読書時間（達成度）



○ 全校平均から約60%弱の子が家で本を読んでいます。
 ▲ 家で全く本を読まない子が、どの学年も30%前後います。

【チェックシートのコメントを一部紹介します】

こどもたちのふり返りから

- （1年生）ほんをよみます。がんばりたいことは、てれびを1じかんにする。
- （2年生）読書をしているとあたまがよくなったきぶんになったから、これからも読書をいっぱいしていきたいな。
- （3年生）家庭学習を30分じゃなくて60分にしたい。読書の時間もふやしたい。
- （4年生）テレビやゲームなど意しきすれば自分でせいげんできるんだなとわかった。
- （5年生）テレビはこの前よりは良かったけど、読書をもうちょっとがんばれる気がしたので、次はもっとがんばろうと思う。
- （6年生）毎日読書をチェックシートがなくてもがんばろうと思った。テレビやゲームは目に良くないと思った。

保護者の方から

- 休日はどうしてもテレビをみる時間が長くなりがち。この取組をきっかけに声掛けすることで、家庭で読書する時間が増えた。今後も継続していきたいと思う。
- 自分から進んで取組をしていて、成長を感じた。休みの日も頑張っていた。動画の1時間と読書はあまり苦じゃなさそうだったが、家での学習はなかなか大変そうだった。「できた○」ことへの達成感をしっかり感じて取り組めたと思う。
- 今までに比べて、自主的に取り組む姿が見られた気がする。次は、もっと○が増えるように頑張りたい。

こどもたちもご家族の皆さんも、忙しい日々を送っていることと思います。今回、まずは自分の生活スタイルを見つめる機会になったと思います。一人ひとり成果と課題は違います。これをきっかけにして、できることから始めてもらえればと思います。また、家庭読書については学校全体の課題と感じています。スクリーンタイムを適切に管理し、その分の一部を数分からでいいので読書にあててほしいと思います。ご協力ありがとうございました。次回もどうぞよろしくお願いいたします。

☆みだっこのみなさん、2学期開始まで10日余りです。残りの夏休みを規則正しい生活リズムに整えつつ、思いっきり楽しんでください。そして、9月に会えることを楽しみにしています。